

中国春季リーグ戦男子1部 Second stage 結果報告

広島大学体育会バレーボール部同窓生の皆様

(同窓会連絡フォームへ登録いただいた皆様及び同窓会やコートの仲間等でご連絡いただいた皆様へお送りしています。)

いつも大変お世話になっております。

広島大学体育会バレーボール部です。

4/29、30に山口県下関武道館において、男女1部 Second stage が開催されました。

広島大学男子の結果は、以下のとおりです。

vs 広島修道大学

○3-1 (25-19、25-27、25-15、25-23)

vs 広島経済大学

○3-0 (25-22、25-14、25-22)

vs 福山平成大学

●1-3 (25-20、19-25、16-25、20-25)

(広大バレー部 Twitter)

<https://twitter.com/hiro daiVOLLEY>

広島修道大学戦ではメンバーを入れ替えながら戦い、マッチポイントの場面で鎌田のシャットが飛び出すなど、出場選手それぞれの特徴が出た試合となりました。ただ、キャッチに苦しんだセットではラリー負けする場面も目立ち、攻守の幅で課題も感じました。広大が東亜、平成にはまずサーブで崩そうとするように、下位のチームは樋口以外のプレーヤーを狙ってきます。1本目が乱れたときにどう得点につなげるか、綺麗さを求めるのではなく、泥臭く練習を重ねて欲しいと思います。

広島経済大学戦では、高橋、佐々木の両センターが軸となり、ブロックで勝ったと言える試合内容でした。相手エースが万全の状態で踏み込んだときにはさすがに抜かれたものの、まさに盤石と呼べるブロック力で、相手の勝つ気を完全に削ぐことができました。センター線が攻撃でも軸となったことで、非常に厚みのあるバレーボールが出来ていたと思います。

その勢いで臨んだ福山平成大学戦では、序盤から相手を圧倒し、15-6 と大量リードを奪いました。相手の4年生エースに代わって入った選手を稲葉が早々にブロックで仕留め、先

週苦しめられたライトバックを消し、サーブで崩して相手レフトに絞る理想的な試合展開になりました。

ただ、相手レフトが替わった2セット目からは、速い平行で相手がリズムを作り、広大の流れを切るサーブミスも重なって、勝機を逸してしまいました。相手ブロッカーは1セット目からよく広大と自分たちの状況を分析し、チーム内で声を掛けあっていた姿が印象的でした。試合が進むにつれて広大のクイックが単発になるところをきっちり抑え、両サイドに2枚つく基本が出来ていたことが相手の勝因であり、広大の敗因でした。強い相手に3セット取るためには、相手に対応されてからさらに相手を上回ることが必要です。2週間後にはリーグ戦完勝続きの東亜大学戦が控えていますので、さらに一段階レベルアップできるゴールデンウイークを過ごしましょう。

なお、Final stage の会場は、福山平成大学体育館に変更になりました。

また、6月10日（土）の春季リーグ入替戦は、広島修道大学体育館で行われることになりましたのでお知らせいたします。

引き続きよろしく願いいたします。